

「令和元年版高齢社会白書」より

高齢化率は **28.1%**

- 我が国の総人口は、平成 30（2018）年 10 月 1 日現在、1 億 2,644 万人。
- 65 歳以上人口は、3,558 万人。総人口に占める 65 歳以上人口の割合（高齢化率）は **28.1%**。
- 「65 歳～74 歳人口」は 1,760 万人、総人口に占める割合は 13.9%。「75 歳以上人口」は 1,798 万人、総人口に占める割合は 14.2%で、65 歳～74 歳人口を上回った。
- 令和 47（2065）年には、約 2.6 人に 1 人が 65 歳以上、約 3.9 人に 1 人が 75 歳以上。

年齢階級別の就業率の推移

年齢階級別に就業率の推移を見てみると、60～64 歳、65～69 歳、70～74 歳では、10 年前の平成 20（2008）年の就業率と比較して、平成 30（2018）年の就業率はそれぞれ 11.6 ポイント、10.4 ポイント、8.4 ポイント伸びている。

健康寿命は延伸し、平均寿命と比較しても伸びが大きい

日常生活に制限のない期間（健康寿命）は、平成 28（2016）年時点で男性が 72.14 年、女性が 74.79 年となっており、それぞれ平成 22 年（2010）年と比べて延びている（平成 22 年→平成 28 年：男性 1.72 年、女性 1.17 年）。

さらに、同期間における健康寿命の伸びは、平均寿命の伸び（平成 22 年→平成 28 年：男性 1.43 年、女性 0.84 年）を上回っている。

インターネットを活用する人が増加傾向

過去 1 年間にインターネットを利用したことがあるかについて、利用者の年齢階級別に 7 年前と比較すると、60～69 歳が 9.5 ポイント増と最も大きく、次いで 70～79 歳が 7.5 ポイント増となっており、インターネットを利用する 60 代、70 代の者が増加傾向にある。